

「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」 公開延期をしていたプログラムがはじまります！

新型コロナウイルスの感染拡大により公開を延期していました、蜷川実花さんの作品、隅川雄二さんの作品は、道後温泉本館や道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の営業が再開されたことを受け、10月27日(水)から公開をいたします。

また、「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」の第1弾ポスターの公開およびPRグッズの配布のお知らせ、オリジナルARコンテンツ公開のお知らせもあります。

また、延期をお知らせしていた「関係人口サミット」は2022年1月10日(月・祝)に開催いたします。

第1弾ポスターの完成&オリジナルPRグッズの配布を開始



ポスター

道後温泉本館後期保存修理工事期間中の新しい活性化策「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」の第1弾ポスターが完成しました。「道後の地熱は、人の熱」をデザインコンセプトに、小林一毅さんが制作したシンボルマークを基に、このプロジェクトを広く周知します。図柄は、プロジェクトのキャラクターと、「DOGO」の文字、プロジェクトのコンセプトの「stay hot, stay creative」で構成しています。キャラクターは、まちづくりの主演は「人」であることに着目し、「人」の顔と、湧き上がる温泉の「泡」がモチーフです。基本カラーは道後温泉本館の振鷺閣の赤いギヤマンガラスの色です。道後地区や松山空港、JR松山駅、松山観光港の松山の玄関口のほか、観光案内所などで掲示します。また、合わせて、オリジナルPRグッズを制作し、道後地域で配布します。

オリジナルPRグッズ

①コースター

【日時】 2021年10月5日(火)～

【配布場所】 道後商店街内の飲食店等

【対象】 道後商店街の飲食店などを利用した方

【数量】 合計2,000枚

②うちわ

【日時】 2021年10月15日(金) 午前6時～

※椿の湯は、午前6時30分～

【配布場所】 道後温泉本館、椿の湯、
道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

【対象】 それぞれの施設の入浴客

【数量】 合計2,000枚



コースター (イメージ)



うちわ (イメージ)

小林 一毅 (こばやし いっき)

グラフィックデザイナー。

1992年滋賀県彦根市生まれ。2015年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。資生堂クリエイティブ本部を経て2019年に独立。東京TDC賞、JAGDA新人賞、日本パッケージデザイン大賞銀賞、Pentawards Silver受賞。



蜷川実花さんの作品展示がスタート

2021年10月27日(水)から、飛鳥乃湯泉の中庭で、写真家・映画監督の蜷川実花さんの写真やオリジナルの提灯で装飾される「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭インスタレーション」がスタートします。飛鳥乃湯泉の中庭が今後さまざまなパフォーマンスやイベントが行われるフリースペース「ハダカヒロバ」として、道後に活力と交流を生み出します。

作品名：道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭インスタレーション

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭の「ハダカヒロバ」に、約230点の花の写真を設置。蜷川さん初となる、屋外の床面にも写真を用いた大規模なインスタレーションです。また、2種類のオリジナル提灯で広場を装飾し、昼夜で異なる雰囲気をお楽しみいただけます。

※作品略称「飛鳥乃湯泉インスタレーション」



「飛鳥乃湯泉インスタレーション」完成イメージ

蜷川実花さんコメント

またこうして、道後温泉と取り組むことができ嬉しいです。今回は、屋外に作品を展示するというので、花の写真の広場を作ってみました。私自身、花の持つ力に支えられてきましたし、ひどく落ち込んでしまうようなことに直面したときに花を撮ることで、己を保てているな、と感じることが何度もありました。先の見えない、不安なことも多い世の中ですが、見てくれた人の背中を少しでも押すことができたら、こんなに嬉しいことはありません。



蜷川実花 (にながわみか)

写真家、映画監督。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映画『さくらん』(2007)、『ヘルタースケルター』(2012)、『Diner ダイナー』(2019)、『人間失格 太宰治と3人の女たち』(2019)監督。Netflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』が世界190カ国で配信中。映像作品も多く手がける。

「ハダカヒロバ」とは

「ここからだもハダカになって、道後温泉を楽しもう!」をキャッチコピーに、さまざまなイベントやパフォーマンスを組み合わせ、道後に活力と交流を生み出す広場です。

【展示期間】2021年10月27日(水)～2024年2月29日(木)

【場所】道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 中庭(松山市道後湯之町19番22号)

隅川雄二さんの作品展示がスタート

2021年10月27日(水)から、道後温泉本館の東側広場の「振鷺亭(しんろてい)」で、松山市在住のテクニカルイラストレーター 隅川雄二さんが道後温泉の歴史絵巻をテーマに制作した「道後温泉五如団子(どうごおんせんごしきだんご)」を公開します。保存修理工事の情報を発信するほか、隅川さんのだまし絵の技法を生かしたイラスト作品はユニークなフォトブースでもお楽しみいただけます。

作品名：道後温泉五如団子(どうごおんせんごしきだんご)

様々な色の顔を持つ、あるがままの道後温泉を5色の団子に例えた、5つの作品の総称です。

●道後温泉本館保存修理工事一目図屏風(いちもくずびょうぶ)

屏風パネルは、隅川さんが、保存修理工事の状況をオリジナルのイラストや写真で分かりやすく解説しています。保存修理工事の進捗に合わせて、更新します。

●道後温泉 つもりの愉(ゆ)

保存修理工事で現在は入浴できない本館「神の湯」の浴室をイメージして、再現した作品です。撮影パネルを使い、実際に入浴しているような写真を撮影できます。

●道後温泉変遷之図譜(へんせんのずふ)

道後温泉の様子が描かれた絵図を時系列に並べ、歴史絵巻のように見せた図譜です。合わせて、「新・道後温泉界限之繪圖(かいわいのえず)」も見られます。

※「道後オンセナート2014」で、隅川さんが描き下ろした作品です。

●令和乃道後温泉鳥瞰絵図(れいわのどうごおんせんちょうかんえず)

本館の1～3階の保存修理完了後の完成予想図をそれぞれ描いています。覗き穴から見ると、全ての絵が重なって1枚の絵になる立体絵図です。モチーフは、隅川さんが制作した「現代版・道後温泉絵図」で、飛鳥乃湯泉2階大広間に展示しています。

●振鷺亭 足湯の寄合(しんろてい あしゆのよりあい)

振鷺亭の屋根に足湯をしつらえ、白鷺が扮する現場監督から、説明を受けながら、保存修理工事を見守っている、伊佐庭知矢や、正岡子規、聖徳太子、夏目漱石など、道後や松山にゆかりのある人物たちの様子が描かれています。3Dアートで、「道後温泉 空の散歩道」から見ると立体的に見えます。

【屋根のライトアップ】(毎日)10月～3月:午後5時～午後11時、4月～9月:午後6時～午後11時



「道後温泉 つもりの愉(ゆ)」完成イメージ

隅川 雄二さんコメント

映画を見に行こうとしている人に「結末は云々・・・」や「犯人は誰々・・・」と言ったら100%怒られます。「楽しい」や「面白い」は自分の予想と違うから生まれますよね。ですからこの場所に詳しい情報は無用です。自分が工夫して、それがうまくいった時も「楽しくて面白い」となります。頭を軽くして、こうだと決めつけず素直な気持ちで見て体験してください。何事も楽しもうとする自分次第ですよ。



隅川雄二 (すみかわゆうじ)

up to you主宰、イメージビルダー。イメージを二次元化し、作り上げるテクニカルイラストレーター。

【展示期間】2021年10月27日(水)～2024年2月29日(木)

【場所】本館東側広場 振鷺亭(松山市道後湯町甲1656-1)

オリジナルARコンテンツを公開します

「道後の地熱は、人の熱」をデザインコンセプトに、まちづくりの主役は「人」であることに着目し、「人」の顔と、湧き上がる温泉の「泡」をモチーフにした、キャラクターが登場する、2種類のオリジナルARコンテンツを公開します。作者はマルチメディアデザイナーの尾野光子さんです。

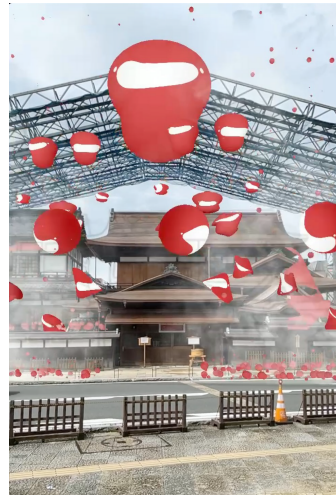
本館で遊ぶAR「WARM UP DOGO」

保存修理工事中の道後温泉本館の新たな顔となる、又新殿・霊の湯棟を背景に、スマートフォンなどでInstagramを起動させ、リアルな景色とバーチャルの踊りながら湧き上がるキャラクターが混ざり合う、写真や動画を撮影することができる、熱気溢れるARフィルターです。

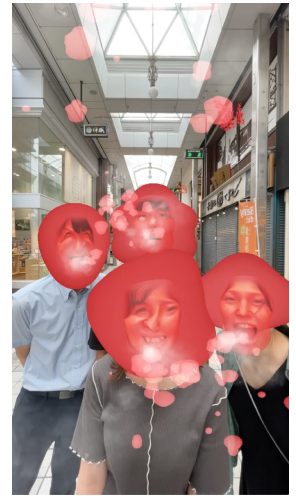
●コンセプト：道後地区の地熱作りに専念する愉快な生き物が、道後温泉本館の又新殿・霊の湯棟付近で大量発生します。小林一毅さんがデザインした自由自在に変化するキャラクターをベースに、道後温泉本館から溢れ出る熱気をイメージしたAR作品をぜひ現地に訪れていただき、リアルな風景と一緒に楽しんでください。

●期間：2021年10月27日(水)午前10時～2024年2月29日(木)

●場所：本館東側広場 振鷺亭(松山市道後湯月町甲1656-1)



本館で遊ぶAR「WARM UP DOGO」イメージ



どこでも笑顔で遊ぶAR「ONSEN SMILE」イメージ

どこでも笑顔で遊ぶAR「ONSEN SMILE」

多様な顔で組み合わせられるグラフィックデザインと一体となった、写真や動画が撮影できるオリジナルの顔写真ARフィルター。道後温泉以外でもいつでもどこでも楽しめます。

●コンセプト：顔が泡になったらどんなふうに見えるの？自由自在に変化するキャラクターと一体となり、「ぶくぶくと動く」自分の様子に思わず笑顔になってしまうAR作品。家族や友人と一緒に遊ぶと、違う個性の動き方も体験できます。世界中どこでも参加できるので、みんなの笑顔で道後から世界を温めましょう。

●期間：2021年10月27日(水)午前10時～2024年2月29日(木)

尾野光子 (おのみつこ)

マルチメディアデザイナー、Facebook公式AR/パートナー。フィリピン出身、大阪在住。不気味でありながら独特のかわいさのあるオリジナルARフィルターが世界中のユーザーに愛用されている。人気作品は、300万回以上シェアされ、閲覧数が2億回を突破。



オリジナルARコンテンツの遊び方

本館で遊ぶAR「WARM UP DOGO」

- ①Instagramアカウント「@dogoosenart」のARエフェクトにアクセスし、起動させます。
- ②振鷺亭に立ち、本館に向けてカメラをかざし、画面上の本館のアウトライン画像を実物に合わせます。
- ③ARエフェクトが出現し、写真や動画を撮影できます。
- ④ハッシュタグ「#stayhotstaycreative」やアカウント「@dogoosenart」を付けて、ARで遊ぶ映像作品をInstagramに投稿してください。

どこでも笑顔で遊ぶAR「ONSEN SMILE」

- ①Instagramアカウント「@dogoosenart」のARエフェクトにアクセスし、ARエフェクトを起動させます。
- ②ARエフェクトが顔認識で起動し、写真や動画を最大5人まで同時に撮影できます。
- ③ハッシュタグ「#stayhotstaycreative」やアカウント「@dogoosenart」を付けて、ARで遊ぶ映像作品をInstagramに投稿してください。

関係人口サミット

●日程：2022年1月10日(月・祝)

●内容

関係人口の可能性と課題を巡り最先端の議論が交わされる場として、全国からキーマンを集めた「関係人口サミット」を開催します。道後温泉の長期的な付加価値づくりを考える上で、地域と多様に関わる人々の存在は欠かせないものとなります。関心をもって関わってくれる外部者と相互に成長していくような、ひらかれた地域であることを広く知っていただくため、そのシンボル事業として行います。また、関係人口におけるリーディングメディアであるSDGsマガジン「ソトコト」とも連携します。

【公式ホームページ】 <https://dogoosenart.com>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、プログラム内容が変更になる場合があります。

【本件に関するお問い合わせ】

未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会事務局（松山市道後温泉事務所内）

担当：菅、越智、徳岡、岡田

TEL：089-921-6464 / FAX：089-934-3415 / MAIL：dogojimu@city.matsuyama.ehime.jp

【広報窓口】

株式会社NINO 担当：清水

TEL：089-995-8783 / 080-6280-6970（問い合わせ時間：10:00-18:00/土・日曜・祝日以外） / MAIL：press@dogoosenart.com